

# シンガポール航空(SIAL)

旅客、貨物ともに堅調、通期も大幅増益へ

フィリップ証券株式会社

## シンガポール | 輸送 | 業績プレビュー

BLOOMBERG SIA:SP | REUTERS SIAL.SI

- 2018/3 期 2Q (7-9 月) は、売上高が前年同期比 5.3%増の 38.47 億 SGD、営業利益が 2.1 倍の 2.32 億 SGD、純利益が同 2.9 倍の 1.89 億 SGD となった。
- 旅客、貨物ともに需要は堅調だった。乗客数はグループ全体では前年同期比 6.7%増の 837.7 万人、SIA カーゴの貨物の積載量は同 5.4%増の 322.9 百万 kg となった。
- 2018/3 通期の市場予想は、売上高が前期比 3.5%増の 153.95 億 SGD、当期利益が同 50.8%増の 54.3 億 SGD である。

### What is the news?

2018/3 期 2Q (7-9 月) は、売上高が前年同期比 5.3%増の 38.47 億 SGD、営業利益が 2.1 倍の 2.32 億 SGD、純利益が同 2.9 倍の 1.89 億 SGD となった。旅客、貨物ともに需要は堅調で、増収増益となった。乗客数はグループ全体では前年同期比 6.7%増の 785.1 万人、SIA カーゴの積載量は 5.4%増の 322.9 百万 kg となった。貨物向けの好転が著しく、輸送量、単価ともに上昇した。

2Q の事業部門別の営業利益は、SIA (シンガポール航空) が前年同期比 2.2 倍の 170 百万 SGD、シルクエアーが同 17.6%減の 14 百万 SGD、LCC のスクートは同 75.0%減の 2 百万 SGD、SIA カーゴは 26 百万 SGD と前年同期の▲11 百万 SGD から黒字に転じた。SIA エンジニアリングは 20.0%減の 20 万 SGD となった。グループ全体では前年同期比 6.7%増の 837.7 万人、旅客単価にあたるイールドが同 1.9%高の 0.102SGD/km と堅調。SIA は、乗客数が同 2.4%増の 491.9 万人と増加したものの、業界内の競争激化のためイールドが同 2.0%安の 0.100SGD/km と低下。シルクエアーは乗客数が同 19.7%増の 116.5 万人、イールドが同 13.3%高の 0.111SGD/km。スクートは乗客数が同 10.6%増の 229.3 万人となった。SIA カーゴは貨物の積載量は 5.4%増の 322.9 百万 kg、貨物イールドが 9.1%高の 0.275SGD/ltk となった。

### How do we view this?

同社は今後も良好な需要は続くとしているが、供給拡大も引き続き競争環境は依然厳しいものとしている。1H にスクートとタイガーエアーのブランドの統合を行い、低コスト化を進めている。また、人員削減計画は発表していないが、同社は 8 月に客室乗務員に無給休暇を取らせるなどしてコスト体系の見直しを進めている。2017/5 から始めた 3 年間の事業変革計画ではプレミアムポジションの強化、グループ会社のシナジー創出、マルチハブの活用、新規事業の創出の 4 つを戦略として掲げ、収支の改善に向けて構造改革に取り組んでおり、収入管理システムの見直しなど一部で成果が出始めたとしている。2018/3 通期の市場予想は、売上高が前期比 3.5%増の 153.95 億 SGD、当期利益が同 50.8%増の 54.3 億 SGD である。

### 業績推移

※参考レート 1SGD=83.08円

事業年度	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3F	2019/3F
売上高(百万SGD)	15,566	15,239	14,868	15,395	15,810
純利益(百万SGD)	368	804	360	543	494
EPS(SGD)	0.31	0.69	0.30	0.47	0.42
PER(倍)	34.03	15.29	35.17	22.45	25.12
BPS(SGD)	10.66	10.96	11.07	11.34	11.56
PBR(倍)	0.99	0.96	0.95	0.93	0.91
配当(SGD)	0.22	0.45	0.20	0.26	0.24
配当利回り(%)	2.09	4.27	1.90	2.46	2.27

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.26** (予想はBloomberg)  
終値(SGD) **10.55** 2017/11/29

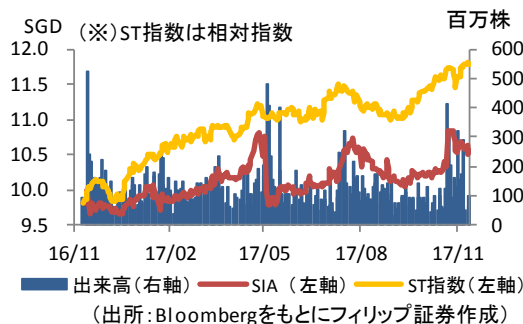
### 会社概要

1947年に「マラヤンエアウェイズ」として創業。その後「マレーシア-シンガポールエアライン」へ改称し、1972年にはマレーシア航空と分離して設立。航空輸送業を行う。グループ全体では180機以上の航空機を運航しており、35カ国130以上の目的地をつないでいる。就航便は約1万便にのぼり、年間3,100万人の乗客を運ぶ。

グループはシンガポール航空、シルクエアー、スクート、SIAエンジニアリング、SIAカーゴ、その他で構成される。シンガポール航空は、シンガポール航空ブランドを展開し、旅客にフルサービスの航空輸送を提供する。シルクエアーは、シルクエアーブランドの下、旅客にフルサービスで近距離路線向けの航空輸送を提供している。スクートはスクートブランドのローコストキャリアを展開。SIAエンジニアリングは、機体保守および分解検査、ラインメンテナンス、グランドハンドリング、車両管理などを行う。SIAカーゴは、航空貨物輸送を行う。

### 企業データ(2017/11/30)

ベータ値	0.59
時価総額(百万SGD)	12,440
企業価値=EV(百万SGD)	12,144
3ヵ月平均売買代金(千SGD)	11,738



### 主要株主(2017/11)

1. Temasek Holdings (Pte) Ltd	55.61
2. BlackRock	1.66
3. Dimensional Fund Advisors LP	1.36

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

2017年11月30日

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。